



2024年12月9日

三鷹市と東京ガス株式会社とのゼロカーボンシティの実現等に向けた包括連携協定の締結について

三鷹市
東京ガス株式会社

三鷹市（市長：河村 孝）と東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一）は、このたび、ゼロカーボンシティの実現に向けた事業および防災・減災のまちづくりを推進することを目的に包括連携協定（以下「本協定」）を締結しました。

三鷹市は、2022年12月、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを旨とする「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

本協定は、そうした取組をさらに推進するものであり、地球温暖化の防止と防災力の強化に貢献するとともに、地域の課題解決やさらなる魅力創出等、地域の一層の発展を図り、持続可能なまちづくりの実現につなげていきます。



（左から 東京ガス常務執行役員：小西 雅子、三鷹市長：河村 孝）

【連携事項】

- (1) ゼロカーボンシティの実現に向けた事業推進に関すること。
- (2) 地域の防災機能強化に関すること。
- (3) 環境教育を通じた啓発活動に関すること。

【締結日】

2024年12月9日

【関係者コメント】

◆三鷹市 市長 河村 孝 コメント

2022年10月、三鷹市で第34回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が開催され、「100年後の地球～今、私たちにできること～」がテーマに掲げられました。また、三鷹市は、2022年12月に未来を担う次世代に、豊かな自然を貴重な財産として引き継いでいくため、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策を実行していくことを宣言しました。そして、2024年3月に第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画を改定し、2023年度～2030年度の8年間での温室効果ガスの削減目標を定めています。

このたびの協定の締結で、東京ガスの有するカーボンニュートラルのまちづくりに資する知見をお借りし、相互連携に基づき取組等を実施できることを大変心強く思っております。これまでの環境施策や防災施策をさらに推進し、市民・事業者等の皆様と連携・協働を図りながら、「ゼロカーボンシティ」と「防災・減災のまちづくり」の実現に向けて、取組を進めてまいります。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、東京ガスグループ2023-2025年度中期経営計画「Compass Transformation 23-25」において、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」「ソリューションの本格展開」を掲げ、多くの企業・自治体の皆さまとの協業を通じ、カーボンニュートラル社会の実現等に向けた取組を進めております。昨年11月には、エネルギーの枠を超えてお客さまが抱える課題を解決するソリューションブランド「IGNITURE（イグニチャー）」を立ち上げました。

本協定の締結により、市・市民・事業者が相互に協力し、ゼロカーボンシティの実現を目指される三鷹市とともに、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、連携できることを大変嬉しく思います。三鷹市とはこれまで、防災のイベントへの参加等により連携を深めてまいりました。今後も三鷹市との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

(参考) ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について

IGNITURE
IGNITE YOUR FUTURE

東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

IGNITUREの詳細は[こちら](#)

以上